

防災公開講座(第 42 回「ふじのくに防災学講座」)

平成 23 年 12 月 3 日(土) 10:30 から
静岡県地震防災センター ないふるホール

テーマ「建築と防災～耐震設計の現状～」

講師 海野 敏夫 静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授

※ 聴講者数 60名



私たちは、自然環境に恵まれた豊かな国土に暮らしていますが、この変化に富んだ自然が一旦牙をむくと、大きな災害に見舞われます。台風による強風や洪水、地震による破壊や津波、さらには火山の噴火ということを含めて、考えられるあらゆる自然の驚異に私たちは囲まれています。私たちは、その理由がこの国土の地理的な位置にあることを知っています。そのほとんどは予測可能な現象ですが、地震は未だに直近に予測をすることはできません。この現実に対応するため、甚大な地震災害が発生するたびに建築基準法や建築基準法施行令が見直されてきました。特に建築物の耐震性に対しては、研究機関の努力もあって、今や世界の最先端の内容を持つに至りました。本講座では、我が国の最新の耐震設計の考え方およびその応用法をお話しするとともに、盲点であった津波の破壊力と被害状況を検証することで、考えられる津波対処法をお話ししたいと思っています。

I. 東日本大震災から学ぶこと

- ・「2011年東北地方太平洋沖地震」の特徴
- ・日本列島の位置とプレートの関係
- ・歴史上の地震との比較
- ・津波
- ・地盤の液状化
- ・建物被害と地震動の関係

II. 日本の耐震設計

- ・新耐震設計法

- ・耐震メニュー
- ・2段階設計
- ・建物のねばり強さとは
- ・地震動と建物の関係
- ・耐震設計の考え方
- ・免震構造
- ・制振構造
- ・長周期地震動の影響

III. 建築確認申請

- ・姉歯問題により確認審査を強化
- ・既存不適格建物という現実
- ・耐震改修の勧め

IV. まとめ